

定時制

4月からほぼ6か月がたち、一年の折り返し地点がきた。これまでの時間を振り返るにはとても良い機会だと思う。

日々の学習や松尾祭や球技大会、クラブ活動などいろいろなイベントを通してみなさんはいろいろな経験をした。それがみなさんの成長を支えてくれている。

9月のはじめに生活体験発表会があった。私はその発表会の冒頭で「想像力」の話をした。

人の話はただ、耳を傾けているだけでは、話の半分もわからない。その時々嬉しかった気持ちや悲しかった気持ちを想像することで発表をより深く理解することができる。人の痛みや悲しみ、よろこびや幸せを理解できるのは人間に想像力があるからだ。

私は、ここにいる皆さんが、中学時代や家庭環境などいろいろな厳しい経験をしてきた人たちが多くいることを知っている。そういう皆さんは、ほかの人にはない、人の痛みや悲しみ、よろこびや幸せを理解できる豊かな想像力を持っていると思う。

私も一生懸命想像力を働かせてみなさんの発表を聞いた。それで気が付いたことがある。

自分だけを見つめている人は、世界を広げることができないでいる、ということだ。ほかの人と交わり、それらの人の気持ちを想像することで、他人の気持ちがわかり、見えている世界を広げることができる。そうしてはじめて自分の姿が見えてくる。

人の成長とはまさにそういうものだと思う。

今、私がみなさんに言いたいことは「自信をもって」歩みだしてほしいということだ。ここにいるみなさんの中には、上田高校に入学する前の自分とは違った自分を見出した人がたくさんいる。それはその人の成長に他ならない。自信をもっていい。

中には自分に自信を持つことなどできない、と思う人もいると思う。そういう自分に悩んでいる人もいるかもしれない。だが、生活体験発表会で聞くことができたように、上田高校で変わった人もいる。ここにいる多くの仲間との交わりの中で、自身のもてる自分を見出す営みをはじめてほしい。